

地理

問題 I

[出題の意図]

本問は、シベリアの自然環境と地誌・民族に関する大問である。自然地理学の知識を問い、北極域の温暖化に関わる近年の動向を含む形で、複眼的知見を解答させるものである。

[正解・解答例]

問 1 9

問 2 (B) 円弧
(C) エスチュアリー (「三角江」や「エスチュアリ」でも正解とする。)
(D) ヴェルホヤンスク (「チェルスキー」でも正解とする。)
(E) シベリア卓状地 (「卓状地」でも正解とする。)

問 3 カナダ楕状地 ロシア卓状地 (「バルト楕状地」でも正解とする。)

問 4 (F) ヤマル (G) スエズ (H) ベーリング

問 5 過去 2 万年前

問 6 スカンディナヴィア氷床

問 7 亜寒帯冬季少雨 Dw (「冷帯冬季少雨」でも正解とする。)

問 8 ※ 以下は解答例である。(同様の記載でなくとも趣旨が合っていれば正解とする。)
この地域の年降水量は少なく乾燥した気候であるが、永久凍土が存在するため、暖かい季節にもたらされる降水が永久凍土層に浸透できず、地表層に土壌水として留まるので樹木の生育が可能となる。

問 9 1991

問 10 ソビエト社会主義共和国連邦

問 11 15

問 12 サハ (「ブリヤート」でも正解とする。)

問 13 トナカイの遊牧 トナカイの飼育 トナカイの狩猟
(これらのいずれかが書かれていれば正解とする。)

問題 II

[出題の意図]

本問では、世界と日本の都市や人口に関する地理的知識をベースに、大陸別の都市化状況の特徴、とりわけ先進国の多い地域と途上国の多い地域との差異（問 1）、アジアにおける地域別の都市人口率の変化、とりわけ急激な都市化が進行している地域の判読（問 2）、都市化に伴う途上国の都市問題、とりわけスラムと呼ばれる居住環境劣悪地域の形成要因（問 3）、日本の地域別人口増加にかかる大都市圏と地方圏との差異（問 4）、日本の都市近郊地域におけるスプロール問題（問 4）といった総合的な観点から地理的思考力、統計や地図の読解力、文章表現力を問うた。

なお、統計や地図の読み方は多様であり、ある種の文章を正答とすることによって、目の付けどころがユニークな解答を排除することにつながるため、記述問題では正答は省略。上の出題意図に沿って採点する。

[正解・解答例]

問 1 A：アジア、 B：ヨーロッパ、 C：中央・南アメリカ、 D：アフリカ、
E：オセアニア（地域）

問 2 a：西アジア、 b：東アジア、 c：南アジア

問 3 スラム（地区）

問 5 スプロール（現象）

問題Ⅲ

[出題の意図]

本問は、東南アジアの資源と産業に関する大問であり、各国の概況（問1）、輸出の状況（問2）、交通システムの発展（問3）、政策の特徴（問4）、開発をめぐる問題（問5）、産業の特性（問6）、食料生産の推移（問7）についてそれぞれ問うた。

[正解・解答例]

問1 a. シンガポール b. マレーシア c. タイ d. インドネシア e. フィリピン
f. ベトナム

問2 ア. フィリピン イ. シンガポール ウ. インドネシア

問3 シンガポールが国際物流の拠点であるハブポート（中継貿易港）として発展し、1980年代以降、港湾コンテナの取扱量を年々増加させてきた点、その背景としてコンテナ船専用のふ頭や出入国管理施設などの港湾設備を整備してきた点などを考慮して、解答を導く。

問4 政策の名前：ブミプトラ政策

中国系住民とマレー系住民の経済格差を是正することを目的として政策が実施された点を考慮して、解答を導く。

問5 森林減少やそれに伴う生物多様性の喪失、森林火災による煙害の発生と近隣国との政治的緊張、地域住民との土地所有をめぐる紛争、温室効果ガスの排出、労働者の人権侵害などを考慮して、解答を導く。

問6 カ. 外国資本（外資系企業） キ. 輸出指向 ク. 工業団地

問7 記号：シ

ドイモイ政策により市場経済化と対外開放がすすめられ、南部の高地を中心にコーヒー園が急激に拡大した点を考慮して、解答を導く。